

柏市指定管理者候補者選定委員会（柏市国際交流センター）
（書類審査及び面接審査）会議録

1 開催日時

令和2年10月26日（月）午前9時から正午まで

2 開催場所

柏市役所本庁舎3階 庁議室

3 出席者

(1) 委員

鬼沢副市長（委員長），飯田企画部長（副委員長），小島総務部次長，高橋財政部長，小貫地域づくり推進部長，永塚協働推進課長，近藤外部委員，岩崎外部委員

(2) 事務局

情報業務改善課：大越主任

協働推進課：川口副参事，野戸副主幹

(3) その他

山崎 直人氏（公認会計士）

4 配布資料

資料1 次第

資料2 柏市国際交流センターの募集概要及び要求水準

資料3 応募資格審査報告

資料4 財務状況の分析結果報告

資料5 応募内容比較表

資料6 指定管理者候補者の選定審査評価表

資料7 評価における意見

資料8 候補者選定の考え方

5 書類審査議事録（要旨）

(1) はじめに

委員長から開会の挨拶

事務局から配布資料の確認

(2) 書類審査

ア 資格審査（事務局から説明）

・応募団体・応募団体の報告

事務局から資料2 柏市国際交流センターの募集概要及び要求水準及び資料3 応募資格審査全16項目について審査したところ，特定非営利活動法人柏市国際交流協会について全ての資格を満たしていることを報告。その後，委員により応募資格を満たしているものと認められた。

イ 財政状況分析結果

公認会計士の山崎氏から財務状況分析結果として，収支計算書の分析，貸借対照表の分析及びキャッシュフロー計算書について説明。

【主な質疑応答】

高橋（秀）委員 新型コロナウイルスの状況により自主事業の収入が減った場合でも、比較的安定した運営が可能であると理解してよいか。

山崎会計士 5年間の収支計画書を確認すると指定管理事業と自主事業に分けてよくできている。自主事業の年間経費は、約1300万円であり100万円程度の収益が出る予定であり、事業ができなかった場合、赤字になる可能性もあるが、これまでの事業で積み上げてきた2700万円の預金があるので問題ないと考える。

岩崎委員 収入の多くが外国語講座の受講料である。全体の人件費が嘱託職員1人あたり100万円であり、かなり低い賃金だが講師の質と経営の関係性は問題ないと考えてよいか。

山崎会計士 特定非営利活動をしている人たちは、ボランティアとして外国人を助けたいという思いが強い人たちの集まりで成り立っているものとする。

岩崎委員 資金ショートしてしまうような懸念はあるか。

山崎会計士 これまでの事業の積み立てによる預金残高が豊富にある。資産があるわけではないが借り入れもないので、資金ショートするような問題はないと考える。

ウ 提案内容の審査（事務局から説明）

- ・市民の平等な利用の確保
- ・施設の効用
- ・サービスの向上
- ・管理を安定して行う能力
- ・効率的な管理
- ・その他

【主な質疑応答】

高橋（秀）委員 情報提供において、国際交流センターを運営してきた不足を感じる言語はあるか。

事務局 近年ベトナム人が増加しているため、国際交流センターもベトナム語の必要性を感じており、人材を探している段階である。

鬼沢委員 講座をするうえで受講料と低賃金での講師の質の部分について事務局では現状をどのように考えているか。

事務局 質の部分については、事業の参加者にアンケートを実施し対応している。賃金に関しては、ボランティア精神の高い人が多く、専門的な知識を持っている人もいるので、低賃金だから質が悪いという認識はない。

岩崎委員 年間の受講者数はどれくらいいるのか。

事務局 外国語講座の延べ受講者数は、年間で11,000人程度、受講者の実数は約600人。

岩崎委員 協会会員の会費収入があるが、会員向けのサービスと指定管理者としての市民サービスについてどのような考え方でいるのか。

事務局 国際交流センターで実施する事業と国際交流協会独自の会員向けのサービスに分けて実施している。

鬼沢委員 国際交流センターと応募団体の事務局が同じ場所になっているが、指定管理部門と協会独自の事業は、しっかりと分けられているのか。

事務局 市から依頼の事業と会員向けの事業をしっかりと分けて実施している。

近藤委員 今後、オンライン化で語学の講座を提供することについて、市としてはオンラインでもよいという考えなのか、対面式で実施して欲しいと考えているのか。

事務局 現在、日本語教室は生徒を集めて実施することができないのでオンラインで始める準備をしている。市としては、事業が進められるのであればオンラインでもよいと考えている。

エ 評価方法 選定評価審査表について（事務局から説明）

・応募団体の評価について

応募団体の面接審査を実施し、各審査の総合評価とする。評価は、各委員の採点の内、最高得点と最低得点を除いた6名の合計評価点とする。評価の基準点は、6名の合計点数が360点以上の場合に指定管理者候補者として選定する。

面接方法は、20分のプレゼンテーション後に40分の質疑応答の合計60分（1時間）の面接審査を実施する。

6 面接審査議事録（要旨）

応募団体による20分間のプレゼンテーション後に40分間の質疑応答が行われた。

【主な質疑応答】

小貫委員 これまでの5年間の経験を活かして、これからの5年間で変化させたいことや力を入れていきたいことは

応募団体 在住外国人に対して、多言語による災害時のサポートをしたいと考え、多言語支援センターとしての活動を充実させたい。また、これまでになかった新型コロナウイルスの対応が必要であり、オンラインを活用した対応を実施していきたい。

小貫委員 今後、市民全体が高齢化社会を迎える中で、若い世代との関係性が大切と考えるが、具体的にどのように考えているか。

応募団体 これまで関わってきた若い世代は、海外派遣経験のある学生たちが中心だったが、今後は、派遣経験のない意欲のある学生にも会議へ参加してもらって意見を取り入れたり、外国人が協会の役員になってもらうことも考えている。

石崎委員 外国語講座の受講者数を多く見込んでいるが、コロナ禍における今年度の見込みはどうなっているか。

応募団体 18講座を実施予定としていたが、前期は新型コロナウイルスの影響で全て中止した。現在は再開しているが、1300万円の約半分の600万円程度の収入となる見込みである。

石崎委員 収支計画の令和3年度以降の見込みはコロナ禍における影響を考慮しているものか。

応募団体 影響は考慮していない。

石崎委員 影響はあると考えているか。

応募団体 あると考えている。具体的には、市と相談しながら進めたいと考えている。

- 石崎委員
応募団体 外国語講座の強みは何だと考えているか。
一番の強みは安価であるという点で、他には色々な人の参加が可能であること、講師がネイティブで交流が生まれる、場所が良い、講師とサポートスタッフが生徒をよく見ているので辞める生徒が少ないなど、質の高い講座を安く受講できることが一番の強みと考えている。
- 石崎委員
応募団体 ボランティアには報酬が支払われているのか。
交通費の実費弁償の他に1回につき500円程度の謝礼金を出している。
- 石崎委員
応募団体 事務局員を6名配置する予定だが、平均年齢と報酬額はどれくらいの予定か。
事務局員の平均年齢は50代。報酬は時間給で1,000円程度。
- 近藤委員
応募団体 日本語講師の養成はどのように考えているか。
ボランティア養成講座の40時間コースの受講者を講師として採用しており、昨年度から日本語教室の講師養成講座を開始した。
- 近藤委員
応募団体 来日する外国人は、技能実習生、高度人材や特定技能など多様になり一律に教えることが難しくなってきたと思うがどのように対応しているか。
レベルに合わせたコース設定や働いている人たちにも対応して、週に2回の夜間教室の実施、教室に来ることができない場合にはオンラインを活用して実施したいと考えている。
- 近藤委員
応募団体 オンラインの場合、講師側は自宅から教えることができるようになっているのか。
講師の自宅からできるように対応している。オンラインでカバーしきれないようなときは、パレット柏で実施している。
- 近藤委員
応募団体 日本語教室の特徴として交流型と知識を教える教室型に分かれることが多いが、どちらのタイプで実施しているのか。
基本的には、日常会話ができるようになることを目指している。生徒から悩み事の相談を受けたり、イベントを紹介したり、生活の支援などクラスを超えた交流も生まれている。
- 高橋（秀）委員
応募団体 柏市に多いベトナム人へのこれまでの対応と今後5年間で強化することについてどのように考えているか。
ベトナム語の通訳と翻訳の対応ができる人が少ない現状がある。麗澤大学との交流があり、協力いただく予定。東葛飾地域の他市の国際交流協会とも連携しているので情報交換をしながら対応していきたい。
- 岩崎委員
応募団体 国際交流協会の会員数と年会費の金額、会員サービスと指定管理としての市民サービスの考え方について教えて欲しい。
会員数は約600人、会費は個人会費が年間2,000円、学生は1,000円、団体会員は、年間で10,000円。指定管理事業では会員特典を付けられない関係で教室に関しては会員と一般の差があまりない現状である。その他は会員には会報を郵送して協会の情報を届けている。
- 永塚委員
応募団体 今回の指定管理に関しては、指定管理事業と自主事業が分けられ、日本語教室と外国語講座は自主事業としたため協会会員の受講料を下げることも可能となるがどのように考えているか。

- 応募団体 2021年からは、会員の料金を少し安くするなど会員の特典を実施したいと考えている。
- 永塚委員 外国語講座と日本語教室の受講者が増えることが協力者拡大の最も効果的な手段だと思うので、受講者の獲得に努めて欲しい。
- 飯田委員 災害時の多言語支援センターについて具体的にどのようなことを考えているのか。
- 応募団体 災害が起こってからではなく、準備の段階で事前にできることは進めていきたい。具体的には避難所での多言語による表示や LINE による情報発信や親身になって考えサポートできる仕組みを考えていきたい。今後はボランティアを募ったり市の防災安全課とも連携しながら準備していきたい。
- 近藤委員 要望として、災害時に必要となる言語としてやさしい日本語がある。災害時には多言語と併用で情報を発信して欲しい。また、日本人がやさしい日本語を使えるようになって欲しい。
- 応募団体 外国人のみなさんにわかりやすく多言語だけでなく発信できるように努めたい。
- 小島委員 より多くの市民の参画を得るためには、国際交流センターや協会の活動の周知が必要であると思うが新たな取り組みは考えているか。
- 応募団体 一般市民のニーズを掴むことが重要なので、事業実施に後に必ずアンケートを実施している。また、市内の他団体と連携し状況を把握すること、ホームページを日本人や外国人にわかりやすい内容にリニューアルをすること、チラシの配布など市の協力も得ながらPRも必要と考えている。
- 岩崎委員 災害時の情報発信には、普段からどこを見れば災害情報を得ることができるかという周知が必要である。日ごろからの周知と他団体や市と連携しながら進めて欲しい。
- 鬼沢委員 200名ほどのスタッフがいることは非常に安心感があるが、ボランティアが高齢化していることは気になる場所である。今後継続していくためには、学生など若い世代の人材の確保に引き続き努めて欲しい。
- 応募団体 指定管理者を経験し、この4年間を振り返って大変だったことなど感じたことはあるか
- 応募団体 これまでは協会内の会員向けの事業を中心に実施していたものが指定管理となったことで、市民全体に向けたサービスの提供にシフトチェンジをしたことが一番の変化だった。また、立地が良いので他の団体との交流が生まれたことが非常に良かったと感じている。

7 候補者の選定

【決定事項】

特定非営利活動法人柏市国際交流協会を指定管理者候補者とする。